

# 平成24年度 事務事業評価シート

※平成23年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	中小企業関係融資事務				継続		
コード	53	-	23	-	02	-	00
担当部署	産業観光部	商工振興課	商業支援担当	予算事業名	中小企業関係融資		
				予算事業コード	会計 10	款 07	項 01 目 02

## 1. 事業の位置付けと関連計画等

第三次川越市総合計画後期基本計画における位置付け 位置付けなしの場合 法令による実施義務 義務ではない

基本目標(章)	4章	にぎわいに満ち、活力ある産業を育てるまち	根拠となる法令、条例等	中小企業信用保険法、川越市融資制度要綱
方向性(節)	1節	地域経済の活性化と産業振興	個別計画等の名称	なし
施策	4	商業の振興		
細施策	4.4	健全な商業の発展と商業団体等への支援・融資制度の充実		

## 2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	市内中小企業者を対象に、事業を営む中小企業者に必要な資金を融資することによって、企業の振興に寄与することを目的とする。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	取扱金融機関及び埼玉県信用保証協会と連携して、1年を通じて融資制度を実施し、窓口相談業務を行います。

## 3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額		1,630,801	1,811,130	1,767,155	1,593,647	1,419,645	
事業費	A	1,367,312	1,601,086	1,506,294	1,356,002	1,491,645	1,491,645
	B	5,550	5,550	5,550	5,550	5,550	5,550
総コスト(C=A+B)		1,372,862	1,606,636	1,511,844	1,361,552	1,497,195	1,497,195
正規職員(1年間の従事人数)		0.75人	0.75人	0.75人	0.75人	0.75人	0.75人
臨時職員(1年間の従事人数)		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金	D	0	0	0	0	0	0
その他特定財源	E	0	0	0	0	0	0
市の財政負担(=C-D-E)		1,372,862	1,606,636	1,511,844	1,361,552	1,497,195	1,497,195

## 4. 成果指標・活動指標による分析

※24年度、25年度の事業費、人件費は見込額  
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

成果	中心指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	指標の定義
成果	融資金額	千円	1,386,997	914,950	368,600	639,461	一年間の融資金額の合計
成果	融資件数	件	146	120	88	160	一年間の融資件数の合計
成果	信用保証協会保証料補助金額	千円	24,925	22,503	3,204	5,414	一年間の保証料補助金額の合計
活動	広報川越掲載	回	2	2	2	2	広報川越に掲載する回数

中心指標の考え方	本事業は、成果指標を中心に評価する。
指標に基づく評価	融資制度は、市内で事業を営む中小企業者の振興を図ることを目的とし、また、制度融資は国・県及び市がそれぞれ有するが、利用者の状況に応じて利用するため、今後も引き続き同様に取り組んでいくこととする。

## 5. 事業の実施を通じた分析・評価

(1) 現在の課題と状況	効率性に課題
融資制度は、国や県も実施している状況であり、国・県制度との差別化をさらに図っていく必要がある。	

(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	埼玉県では中小企業制度融資事業を実施しており、本市より内容が充実しているのが現状である。ただ、本市の特徴として、事業者が埼玉県信用保証協会に支払う保証料のうち、40%を補助している。また、県内では所沢市や川口市等のほとんどの自治体で実施している。
-------------------------	---

(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	融資制度は国や県も実施しているが、利用者の状況に応じて利用するため、市内中小企業向けの資金を確保するための施策として必要なものと思われるので、結果として市内中小企業に対する行政サービスの低下につながってしまうことが想定される。
---------------------	---

(4) 所属長自己評価(今後の方向性)	継続
中小企業をめぐる経営環境は依然厳しい状況であるため、今後とも継続する必要がある。	